

べい ブロック塀の点検方法

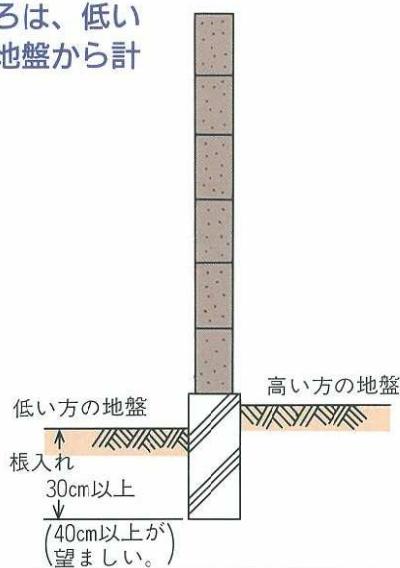
点検は、次の5項目について行って下さい。

1 基礎の根入れはあるか

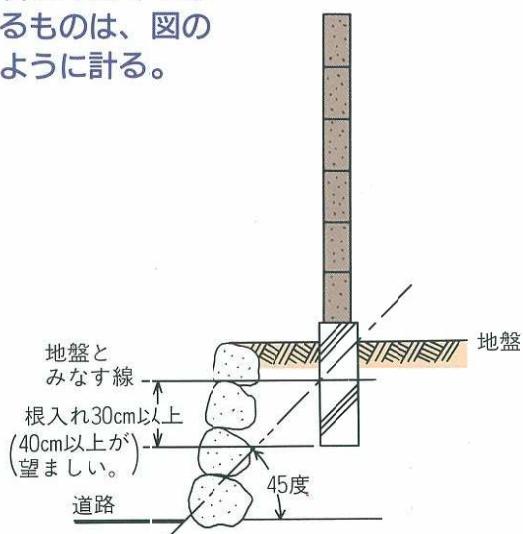
点検結果	
適合	不適合

コンクリートの基礎は、地盤から30cm以上根入れされていることが必要です。まわりを掘って調べて下さい。(根入れは40cm以上が望ましい。)
(「根入れ」とは、基礎のうち土の中に入っている部分をいいます。)

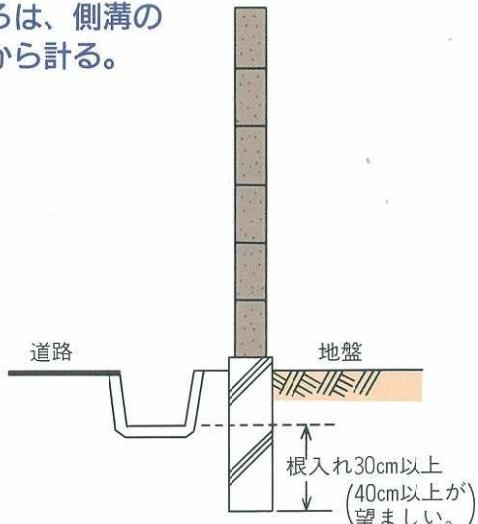
地盤に差があるところは、低い方の地盤から計る。



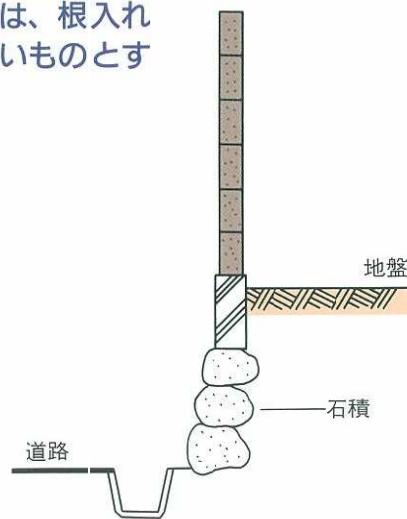
いしづみ
石積の近くにあるものは、図のように計る。



そつこう
側溝に沿ったところは、側溝の底から計る。



石積の上にあるものは、根入れがないものとする。

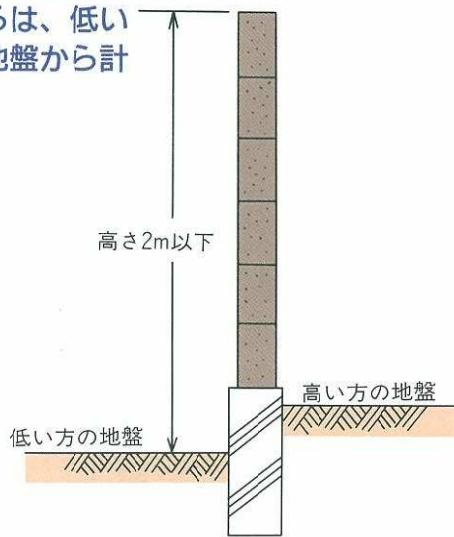


2 壁は高すぎないか

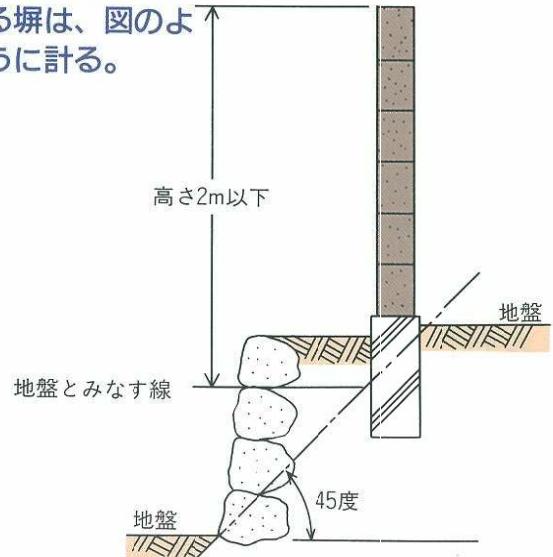
点検結果	適合	不適合
------	----	-----

壁の高さは、地盤から2m以下かどうか調べて下さい。

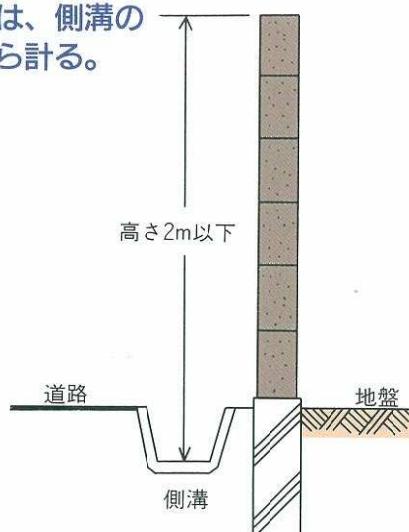
地盤に差がある
ところは、低い
方の地盤から計
る。



いしづみ
石積の近くにあ
る壁は、図のよ
うに計る。



そつこう
側溝に沿ったと
ころは、側溝の
底から計る。



3 控壁はあるか

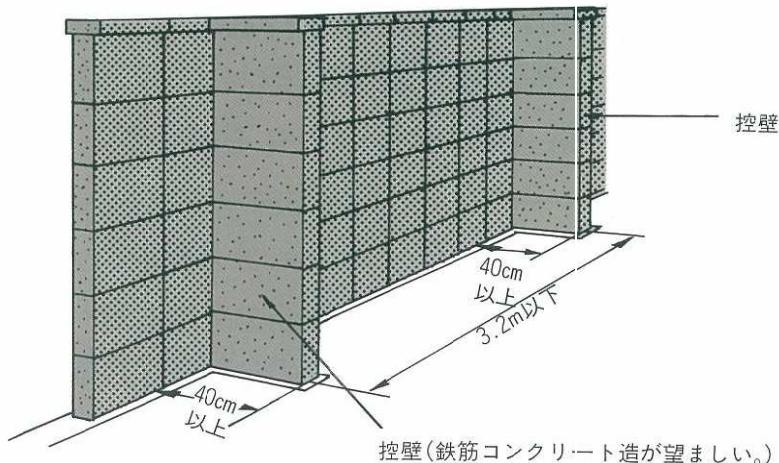
点検結果

適合

不適合

控壁は、次の①及び②について調べて下さい。

- ① 控壁は塀の長さ3.2m（ブロック8個）以下ごとにあるか。
- ② 控壁の長さは40cm以上あるか。



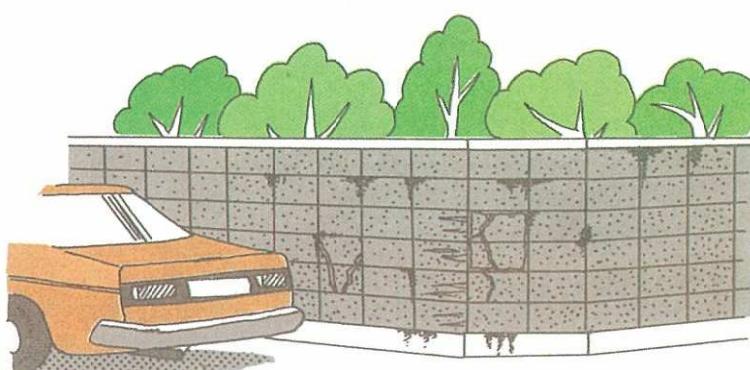
4 塀の傾き、ひび割れはないか

点検結果

適合

不適合

塀が傾いたり、ひび割れしていないか、また、**鉄筋**が錆びていないか調べて下さい。



鉄筋の入っているところに沿ってブロックが茶色にじんでいたり、または、はじけていたら中の鉄筋が錆びています。

5 塀に鉄筋は入っているか

点検結果	適合	不適合
------	----	-----

塀の中に、直径9mmの鉄筋が次の①、②及び③のように入っているか調べて下さい。この点検は、塀を造った施工者などと相談して行って下さい。

① 鉄筋は、縦横とも80cm間隔以下に入っているか。

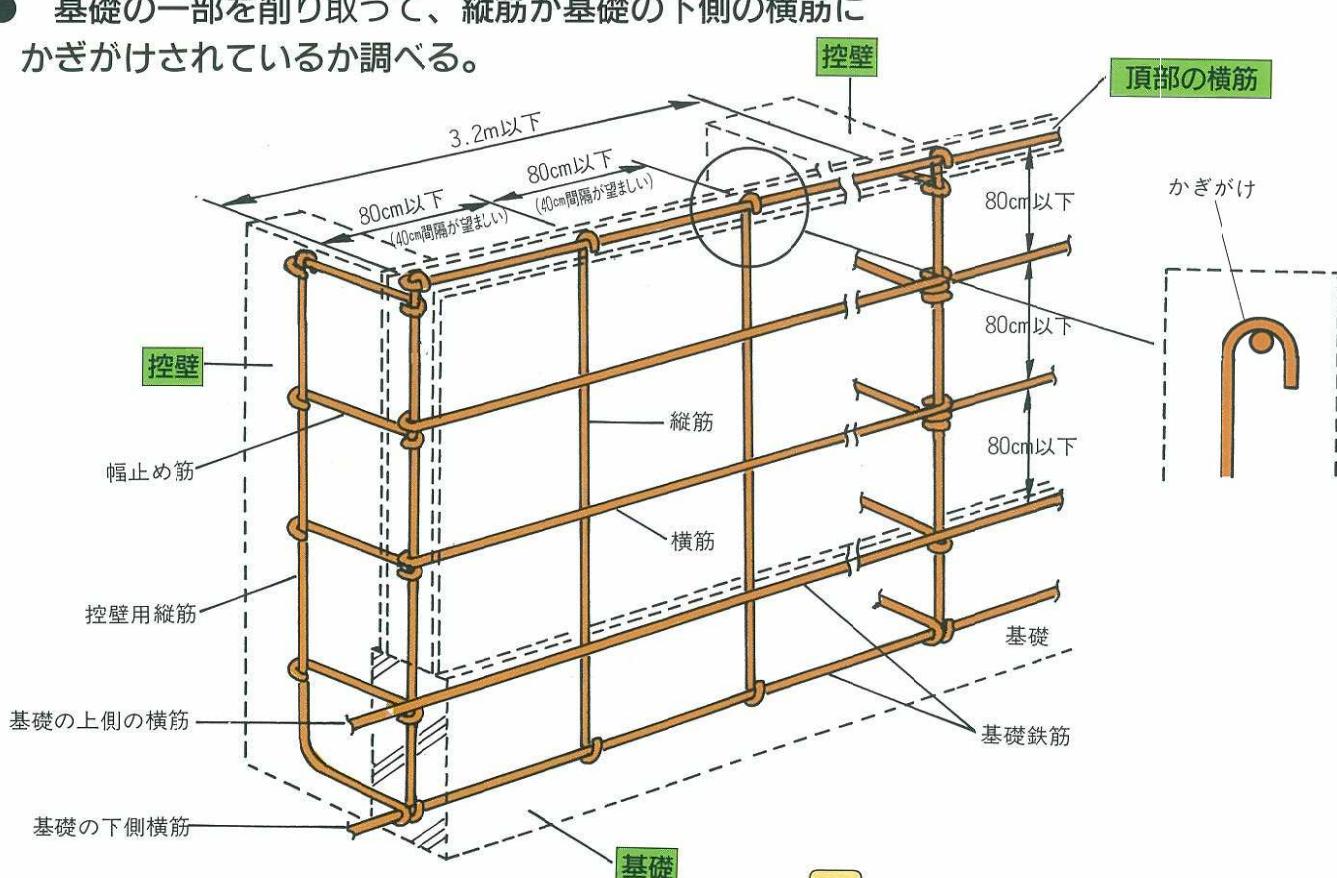
(縦筋は40cm間隔が望ましい。)

② 縦筋は、頂部の横筋にかぎかけされているか、また、基礎の下側の横筋にかぎかけされているか。

③ 控壁の鉄筋は、図のように入っているか。

内部の点検の方法

- 最上段のブロックの一部を削り取って、鉄筋の有無を調べる。
- 縦筋が入っている部分の最下段のブロックの一部を削り取って、基礎から鉄筋が立ち上がっているか調べる。
- 基礎の一部を削り取って、縦筋が基礎の下側の横筋にかぎかけされているか調べる。



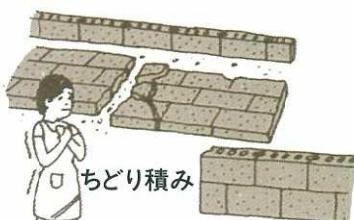
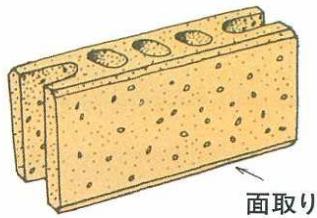
- 点検したあと問題がなかった場合は、削り取った部分をモルタルにより補修してください。

注

10年以上たった塀は、雨水などが入って鉄筋が錆びている場合が多いので注意して調べて下さい。

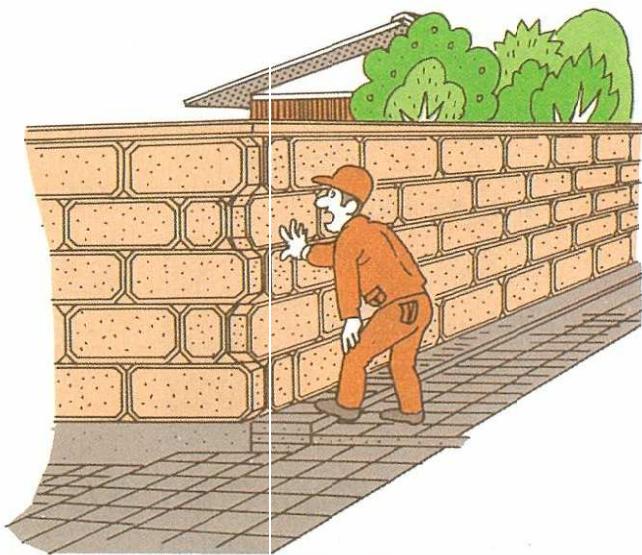
注

- 面取りブロックは危険です。
- ちどり積みや、すかしブロックのある塀は、**鉄筋が正しく入っていない場合が多い**ので注意して下さい。



いしゃい
石塀は、ブロック塀以上に危険なもの

です。
建築士など専門家に点検してもらい
必要な改善をして下さい。



ブロック塀の5項目の点検は済みましたか

- ① 5項目全てに適合していれば、そのブロック塀は、一応合格です。

基礎のまわりを掘ったあとや柔らかい地盤などは、
よくつき固めて下さい。

- ② 5項目のうちひとつでも不適合あれば、そのブロック塀は、危険です。このようなブロック塀は、改善するか造り替える必要があります。特に道路に沿ったブロック塀は早急に行って下さい。
- ③ 改善するときは、次の **ブロック塀の改善方法** を参考にして下さい。
- ④ 造り替えるときは、**新しいブロック塀の造り方** (10ページ) によって行って下さい。